**２０２３年度　学校評価**

1. 教育目標

|  |
| --- |
| ・元気で明るく逞しい子ども・人に優しく、自分が大好きな子ども・様々なことに興味関心を持ち、探求心のある子ども |

1. 目標達成のため本年度の重点

|  |
| --- |
| **・健康を守る保育**・子どもたち自身が安全に過ごす方法が分かるように、指導する。また、体の使い方が分かるような保育内容を取り入れ、体の使い方を覚えていってもらう必要がある。周りを見て遊ぶことをもう少し意識させられるよう指導する事は勿論、怪我につながらない為の環境構成も見直す必要がある。危険認知能力を小さいうちから付けさせる保育を考えていきたい。特に体の使い方等。**・異年齢との関わりを大切にする保育**今年度から以上児、未満児との交流する時間「ふれあいタイム」を月に一度開催し、一緒に関わり遊ぶ時間をつくった。未満児は、初めの頃は慣れないため、泣いている子もいたが、現在では泣かずに参加できる子も増え、以上児と一緒にわらべうたやダンスなどを楽しめている。**・人権を大切にする保育**・日々のお祈りによって、世界の平和を意識する事が出来た。・苦手な事、周りと違う事を受け入れ、その子が出来る事、得意なことに目を向け、お互いが認め合える保育を心掛けたい。・どんな時も、子ども達の気持ちに寄り添える保育が理想。**・共に育ちあう保育**・友達や年上のお友達の姿に感化されて「やってみたい！」という気持ちが育つ瞬間が多くとても良かった。・先生たちが褒めることで、自信を付けたり、褒められた友達をお手本に頑張ろうとする姿が見られてよかった。今後は褒められるためにだけではなく行動が出来るようになり、自信を持てる子を増やす言葉がけをみんなで考えていけるとよりいいと思う。・行事等では、一人ひとりの個性を大切に、仲間意識を持って過ごし、社会性も所々ではあるが身に付けられていた。みんなで協力して得られた達成感や満足感は、子ども達の自信につながっていった。**・保護者と共に進める保育**・保護者の無理な要求はしっかりと理由を伝えて断り、協力できるところは協力して保育していくことが出来ていたと思う。・個別面談以外でも、日々の連絡帳や、送迎時にも子どもの成長をお伝えし、お家での困りごと等、密にやり取りが出来ていると思う。情報交換は、それぞれ連絡帳や個人面談で行われ、保護者や子どもに対して、丁寧かつ迅速な対応を心掛けることができた。**・地域とのかかわりを大切にする保育**・園外のお散歩時には、近所の方に挨拶をしたり、公共の場に行くときはマナーを子ども達に伝えたりしながら、地域との関りを大切にしている。・山車行列では親子での参加を楽しむことが出来ていた。ハロウィンやクリスマス会などの町のイベントに作品展示を通して参加し、それによって親子で参加をするきっかけ作りが出来ていた。・小学校や保健師さん療育機関などとの連絡を取り、対象園児に対しての共通理解を図る努力が出来ていた。 |

3.　評価項目　　内容と結果　　…【（括弧）内は結果の数字になっています】

|  |
| --- |
| **保育の計画性（3.6）** |
| ・子ども達の成長、発達段階に合わせて各クラス保育計画を立てている。その日の活動の振り返りとして、クラス担任同士、「ここはもっとこうした方が良かった」と話しができる日もあったが、時間に追われてできない日もあった。・行事は、早めに計画を立ててそれぞれが取り組んでいたので余裕があり良かった。・週案を立てる事で、見通しを持って保育を進められる。・子どもの様子、能力を見極められず、反省や課題が残る内容もあった。・全体的に製作面が多く、絵画や、運動面がもう少し充実出来ると良い。 |
| **保育の方法と展開（3）** |
| ・モンテッソーリ教育については、職員間の学びが必要。・行事に向けての活動は、今年は特に、計画的に行うことが出来ていたと思うが、日々の保育では、ややマンネリ化の傾向にある為、ステップアップも踏まえ、時代に合った新しい事へのチャレンジも望ましい。・子どもの様子を見極め、あまり形に捉われず、出来る事をどんどん伸ばしてあげたい。 |
| **保育教諭としての資質向上・能力・良識・義務（4）** |
| ・講習会等に参加し、積極的に学ぶ事ができている。日々の保育の中で良識とは違った場合、その都度声を掛け、考えてもらうように努めている。保育者全員で子ども達に関わり、気になる事があれば、保育者同士意見を交換し、情報を共有することができていた。子どもが今何をしたいのか、何を求めているのか、思いに寄り添い、気持ちを汲み取りながら関わり、計画通りの流れで進めるのではなく、臨機応変に対応する事ができていた。・子ども達の成長発達に応じて、より発展した保育、あそびが提供できるように、保育者として学んでいく必要がある。・日週案や日誌に時間がかかりすぎて、保育準備が追いついていない様子も見られた。仕事の分担や仕事の手順を考え、相談するとよりいいかと思う。・仕事の手順を考え、能率良く処理するよう努めている。・同僚や保護者とも積極的に関わる事に努めたい気持ちはあるが、状況によってはつい控え目になっていたところもあり、改善したい。・職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。 |
| **保護者への対応（4）** |
| ・保護者の様々な価値観に寄り添いながら、園での子どもの様子を伝えながら、成長発達を促していく為には何が必要なのか共に考える事ができた。連絡帳だけでは伝わらない部分や、保護者からの相談については、送迎時などに必ず顔を合わせて、表情や話し方を汲み取りながら、口頭で話すように努めた。保育者によって、体調不良時の登園について認識が違う事があり、保護者に伝える前に必ず確認をする方が良い。・親の気持ちを聞き・丁寧に接している先生が多く良かったと思う。・話し方が、お友達と話しているかのような話し方になってしまうことがあるので、職員としての言葉遣いを全職員が気をつけられると良い。・全職員が共通の理解で対応できるように情報共有し対応の統一ができるようになってきている。今後も共通の対応ができるように気をつけて行けると良い。・お便りや、連絡帳で子ども達の様子を分かりやすく伝えようと努めていた。・保育参観や懇談会、面談等にて、園や家庭での子どもの様子を共通理解し、得られるよう努めた。・園だより等で、園や子ども達の様子について適切に情報を提供している。 |
| 地域・関係機関との連携（3.6） |
| 保育の中で地域の施設に訪問し、庭園や鯉を見学させてもらったり、消防署や警察署等にも見学に行く事もできた。子どもの育ちについて気になる事がある場合には、関係機関とも連携がとれた。・コロナ明けということもあり、地域との交流は難しいところもあったが、山車行列の参加やハロウィンクリスマス会などでこどもたちの作品を展示してもらうなど、園児が地域の行事（イベント）と関わるきっかけとなって良かったと思う。・保健師さんや教育機関などと・町内のイベントに積極的に参加し、地域の方達の中で楽しく活動する機会が沢山あった。・小学校の先生たちによる園訪問時に新一年生の申し送りを行い、共通理解を図る。 |
| **研修・研究（3.3）** |
| ・日時の都合が合えば、積極的にキャリアアップ等の研修に参加する事ができた。興味のある研修は、オンラインで受ける事ができ、家庭のある保育者も自宅からでも受ける事ができた。絵本の読み方やわらべうた、乳児のあそびの研修は、実際の保育でもすぐに子ども達に提供することができ、周りの保育者にも伝える事ができて良かった。技術や知識を増やしていく為にも、これからも積極的に研修参加をする必要がある。・経験の多い先生もいるので、もっと相談しこどもたちの状況に合った内容の保育ができたのではないか。・未満児と以上児クラスの職員がそれぞれ交換して保育をする方法も是非実現したい。 |
| **安全管理（4）** |
| ・事故を予想し予防に努める。・園内での危険が予想される箇所を把握し、事故等の予防に努めている。・園内の換気、採光、温度調整など環境整備に心掛けている。・毎月、避難訓練を行い、子ども達の安全確保に努めている。・初の試みとして、園庭遊具の整備を親子で行う |

4.　2023年度の総評

|  |
| --- |
| 総評　（3.3） |
| ・今年度からふれあいタイムができ、昨年度よりも以上児、未満児と交流する時間が増え良かった。交流を重ねる事に、自然と未満児から以上児のお友達に手をつなぎに行く子もいて嬉しく感じる。・各クラスでは、子ども達の運動発達を促す為にはどうしたらよい環境か、担任同士考え話し合い、過ごしやすい保育室作りや、手作り玩具を提供している。・保育活動では、保育者の経験年数にもより、豊富なあそびの活動ができるクラスもあるが、活動がマンネリ化傾向にある為、子どもの成長発達に合わせて活動内容も発展が必要と感じる点もある。・保護者対応では、保護者の思いに寄り添い共感しながら、アドバイスや、子どもの為には必要な事は伝えることができていた。ケガや、体調面で心配な事がある場合には、降園時、担任保育士が保護者に直接会えない場合があるので、お残りの保育者に口頭で伝えてもらうように努めた。・行事ははやめにとりくむことで、子ども達にいつもの年よりも余裕があったように思う。・行事に関しては、職員の慣れもありスムーズかつ要領よく進められ、子ども達の成長も大いに感じられた。・お仕事に関しては、職員にバラツキがあり、得意不得意が見られ、勉強不足を感じる。 |

1. 来年度課題

|  |
| --- |
| ・保育経験年数が浅い保育者への指導（経験年数のある保育者と一緒にクラス担任を持ち、保育の流れ、子ども達との関わり方を学ぶ）・子ども達に興味や成長に合った保育・教材の準備や研究・話し合い・こどもたちがゆとりのある毎日が過ごせるように準備・職員、保護者間の連携の強化。信頼関係の構築。・子どもの中心の保育内容、運動面の充実。・人権を大切にする保育の継続・自分の考えを持ち行動できる子どもの教育。 |